



2021年2月12日

各 位

会社名 竹田印刷株式会社
代表者名 代表取締役社長 木全幸治
(コード番号 7875 東証第二部・名証第二部)
問合せ先 取締役経営統括本部長 細野 浩之
TEL (052) 871-6351

希望退職者募集の結果及び減損損失の計上と繰延税金資産の取り崩し
並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

2020年12月17日に公表いたしました希望退職者募集の結果につきまして、下記の通りお知らせいたします。また、当社は、2021年3月期第3四半期決算にて、減損損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しを行ったため、本日開催の取締役会において、2020年11月11日に公表いたしました2021年3月期の通期業績予想を修正することといたします。

記

1. 希望退職者の募集結果について

(1) 募集概要

- | | |
|-------|--|
| ①対象者 | 1) 勤続5年以上で且つ満40歳以上の正社員(2020年12月31日時点)
2) 定年後再雇用社員で65歳未満の社員(2020年12月31日時点) |
| ②募集人員 | 100名程度 |
| ③募集期間 | 2021年1月6日から2021年1月29日まで |
| ④退職日 | 2021年3月31日 |
| ⑤優遇措置 | 特別退職金の加算、再就職支援サービスの提供等 |

(2) 募集の結果

希望退職者数 88名

(3) 特別損失の計上

希望退職者募集の結果に伴い発生する特別退職金及び再就職支援費用5億97百万円を、2021年3月期第4四半期連結会計期間に特別損失として計上する予定であります。なお、当該損失については下記4に記載の2021年3月期通期連結業績予想に反映いたしております。

2. 減損損失について

新型コロナウイルス感染症による影響などを総合的に勘案し、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、当第3四半期連結会計期間における連結決算及び個別決算において、当社が関西地区で保有する固定資産(土地、建物等)について、帳簿価格を回収可能価格まで減額し、2億72百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

3. 繰延税金資産の取り崩しについて

国内印刷市場の縮小や新型コロナウイルス感染症による影響による収益の低下を考慮し、当第3四半

期連結会計期間において繰延税金資産を7億2百万円取り崩し、法人税等調整額を同額、法人税等に計上いたしました。なお、第2四半期連結会計期間において既に1億30百万円の取り崩しを行っており、当第3四半期連結累計期間における繰延税金資産の取り崩しの総額は8億32百万円となります。

4. 通期連結業績予想

(1) 2021年3月期 通期連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 [A]	31,000	△50	50	△130	△15.96
今回修正予想 [B]	31,000	100	200	△1,780	△218.59
増減額 [B-A]	0	150	150	△1,650	—
増減率 (%)	0.0	—	300.0	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	35,651	502	588	381	47.08

(2) 業績予想について

国内印刷市場の縮小や新型コロナウイルス感染症による影響により、印刷事業と物販事業で業績が伸び悩んでおります。その対策として、販売活動では基本となる訪問営業に加えまして、リモートによる活動やデジタルマーケティングを活用するなど、売上高の確保に努めております。

半導体関連マスク事業では、第5世代移動通信システム（5G）の需要や企業でのテレワークの浸透によるパソコンなどのデジタル情報端末や周辺機器への需要を取り込み、好調に推移しております。

また、当社における役員報酬の減額やマネジメント手当（役職手当）の減額、生産設備の統廃合、グループ全体にて交際費や旅費交通費などの経費削減を徹底しております。

以上の内容により、営業利益及び経常利益において、前回発表予想数値を上回る見通しとなりました。

一方、当第3四半期連結会計期間で計上しました上記2及び3の内容のほか、上記1に記載の内容を2021年3月期第4四半期連結会計期間に計上することとなりましたので、上記の通り修正いたします。

(注) 上記の業績予想及び配当予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上